

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	12	学校名	仙台市立八幡小学校	校長名	高橋 興
------	----	-----	-----------	-----	------

1 取組のタイトル、テーマ

「自然を大切にする気持ちを育もう」



2 取組の紹介

(1) 環境委員会の取組

環境委員会では、児童会祭のイベントでゴミが多く出ることを考慮して、分別することの大切さを全校に伝えるためにポスターを作成しました。

また、アサガオのつるを再利用してクリスマスリースを作成しました。完成したクリスマスリースは、踊り場に飾り、通る人は足を止めて見ていました。校庭でマツボックリや落ち葉を拾い、自然と触れ合いながら活動を進めることができました。



(2) 3年 「川に学ぼう～しぜん・ちいき・くらし～」

7月に広瀬川についての学習をしました。広瀬川は山から海まで流れていることを学び、「初めて知りました。」と驚いている児童も見られました。また、広瀬川に生息している生き物を観察して、気付いたことを絵や言葉でまとめました。多くの種類の生き物を観察したことで、9月に実施する広瀬川の学習への興味・関心を高めました。

その後9月に、広瀬川で虫取りや、網を持って水生生物を捕まえ、観察して楽しみました。カニを捕まえて観察した児童は、「はさみが大きくてすごびっくりしたよ。」「甲羅は堅そうだね。」「脱皮したカニの抜け殻が落ちているよ。」など気付いたことを友達と伝え合う姿がとても印象的でした。自然に親しみ、大切にする気持ちが大きく育った体験学習になりました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

ゴミの分別についてのポスターを校内に掲示したことで、児童会のイベントの片付けをする児童からは、「それは燃えるゴミだね。」「ダンボールに付いているテープは剥がして捨てよう。」などの声が聞こえ、ゴミを分別する意識が高まってきていると感じました。また、余ったプリントを裏紙にしたり、使用済みの箱で道具入れを作成したりして、進んで再利用しようとする態度も見られるようになりました。

3年生は広瀬川の学習を経て、住んでいる地域には自然があふれていることを改めて実感しました。生き物と触れ合った感想を他の学年の友達に伝えることで、お互いに自然の面白さに触れるきっかけになりました。また、学習した生き物をまとめた物を掲示することで、広瀬川の自然の豊かさを全校に広げることができました。その結果、「一緒に生き物を探そうよ。」と友達に声を掛けて、校庭に出て虫やカナヘビを探すなど、自然と親しむ児童が以前よりも見られるようになりました。そこから、自然を大切にしようとする気持ちが育っていると実感しています。